



野田市議会議員

NO.2

# 栗原もとき の 議会報告

発行：新しい野田市をつくる会  
野田市岩名1-34-10

## 野田市議会議員の政務調査費はいくら？

最近、県議会議員や市議会議員の不祥事でメディアを賑わしてきました。特に発端となった問題が政務調査費に関してです。野田市議会議員にもこの政務調査費が支給されています。政務調査費の詳細は各自治体の条例により定められ交付額や交付方法については自治体により異なります。議員活動とは関係ない支出（私的行為など）は法令違反となりますが、チェック機能が働いていない例も全国的に多いのかもしれませんが、今回のメディアを賑わしている問題も今に始まった事ではなく、当選直後からとの話も出ています。では野田市の場合はどうなのでしょう。

野田市の場合は会派に属する議員個人に支給されています。果たして政務調査費は幾らでしょうか？

## 議員1人月額22,500円×12ヵ月分

毎月支給されるのではなく年額を一括で支給されます。

先に自己負担で購入した商品などの領収証を事務局に提出すると、後で政務調査費から返還されます。ここは民間企業と同じです。なので、そもそも今回の領収証が無く不透明な使用に関しても認められるということ事態が、チェックする側の体質にも問題がありますので、昔からその体質が蔓延して、今に始まった事ではない事が伺えます。今回の件をみると、与えられた予算は与えられた分は使い切ろうという感覚が伺えます。政務調査費も税金で賄われており不正は市民の皆様への裏切りとなり絶対にあってはならない事です。

### ☆認められる正当な支出

- ・研究費（地方財政等の調査研究）
- ・研修費（研修会参加や開催経費）
- ・広報費（議会活動や報告周知等）
- ・広聴費（要望や意見収集の広聴）
- ・資料作成費（資料作成に要する経費）
- ・資料購入費（活動に必要な図書資料）
- ・備品購入費（事務機器等の必要経費）

## 空き家問題を考える必要に迫られる時代へ

2014年7月29日、総務省は2013年度の住宅・土地統計調査結果を発表しました。これによりますと、日本全国の空き家数は820万戸であり、空き家率は13.5%と過去最高を記憶しており、これは5年前と比べ8.3%増加している状況です。また、今年に入ってから新聞記事や論文などでさかんに議論されている状態でもあります。東京オリンピックが開かれます2020年に全国の空き家は1千万戸に達し、空き家率は15%に昇るとされ、さらに空き家は毎年20万戸以上の増加傾向にある事からも、すでに日本全体は空き家だらけであり、2030年には東京都23区分、そして今よりも1千万人の人口が減るとも見込まれ、2040年には10軒に4軒が空き家となる統計も出ています。

野田市の空き家状況に関しては市と消防団が連携し、市内全域を対象に住宅の空き家数の実態調査をした結果、平成22年度には711戸であった住宅の空き家が23年度は220戸増え931戸と増加傾向に。この空き家問題の根本にありますのは、日本の都市発展の歴史そのものであり、戦後の日本が行きついた末の姿でもあります。現在の増加傾向にあります要因の一つとして人口の高齢化が考えられます。現在の野田市の人口割合を見ましても、3人に1人が60歳以上に突入し、平成25年度における野田市の高齢者の割合は過去最高の状態であり、空き家の増加が予想でき、今後も深刻化していくことは明らかです。野田市は平成25年10月に「空き家等の適正管理に関する条例」を制定しましたが、約1年が経過し状況や成果、今後の具体策など9月議会の一般質問で行う予定です。

## 小中学校へのエアコン設置は？

中学校は来年に導入する予定となりました。しかし小学校は未だに導入する方向ではありません。エアコンを稼働する期間は7月～9月と考え、夏休みの日数を計算すると、実質稼働する期間は1年の内で1ヶ月前後となります。その短い期間だけの為に、大きな予算をかけてエアコンを導入するよりも他の優先すべき政策にお金を使おうという市の考えもあります。しかし異常気象と言われる様に夏の気温も昔に比べはるかに高くなり、授業中の熱中症の危険もあります。教室だけではなく職員室にも設置が必要で、暑さからくる教師の業務非効率化を引き起こす対策も合わせて考える必要があります。

## 小中学校の耐震改修工事の進展状況

野田市では平成16年度から実施計画に基づき、校舎又は体育館の耐震改修工事を毎年1・2棟ずつ進めてきましたが、東日本大震災を経験し、児童生徒の安全性の観点、学校施設の避難所としての有用性から、耐震化計画を見直し、平成25年度から3年間で耐震化が必要な施設の耐震改修工事を行い、平成27年度までには全ての公立学校等の耐震化を完了させる予定です。

26年度	27年度
○耐震補強工事 山崎小(2) 岩木小 清水台小 中央小 川間小(2) 福田第二小 福田中 第一中 宮崎小(改築)	○耐震補強工事 中央小 木間ヶ瀬小(2) 清水台小(2) 二川小 柳沢小 岩木小 二川中 関宿中 宮崎小(改築)
○つり天井耐震改修設計 関宿小 第一中	○つり天井耐震改修工事 関宿小 第一中
○耐震診断 二川小(2)	

## 9月議会の開会

6月に続き第2回目となる議会が9月3日～29日の日程で開会中。各議員が行政に対して行う一般質問は議員28名中14名が行う。

※一般質問とは市に対してその執行の状況又は将来の方針、政策的提言や行政への批判等を執行者（担当課や首長）に直接質すことで、執行者の所見や施策について報告を求めたり、提案、問い質すこともあります。質問の範囲は、市の行財政全般（公共事務、団体委任事務、行政事務の一切を含む）のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

一般質問では議会の申し合わせにより、質問時間40分以内（質問のみ）制限なし。

## 一般質問の内容

6月議会に続き9月議会でも一般質問しています。今回は下記3点に関して行政に質問させて頂きました。

- ①土曜日授業について  
・土曜授業アンケート結果と今後の対応策
- ②空き家問題について  
・条例制定後の成果と今後の対応策
- ③市の公報戦略について  
・広報戦略の現状と今後の対応策

上記内容に関しての結果は9月議会が終了次第「議会報告NO.3」を発行致しますので、その中で御報告させて頂きます。

## 子ども医療費助成の延長が決定

通院に対しての医療費助成が中学3年生までの延長と決まりました。導入時期が明確になり来年8月からの予定です。6月に行われた一般質問で私も提案させて頂きましたが、市民の皆様の声も多く議員がより継続的に提案してきた結果でもあります。

## 特典を付けたふるさと納税の開始

6月議会の一般質問でも、野田市の農産物を全国にPRする観点からも、広がりを見せるふるさと納税に特典をつける取組を提案しました。野田市は10月から黒酢米の特典を付けて開始する予定で1万円以上の納税者に黒酢米10kgを贈呈する。野田市民の方は対象外。私としては野田市にあるその他の醤油関連商品やその他産物も提案致しましたが、現在は黒酢米のみで行いその他特典は検討段階となっています。

## 皆様からの声をお待ちしています

どんな些細な事でも構いません。野田市に対する疑問、質問、ご意見があればいつでもご連絡下さい。

TEL : 080-6704-3564  
motoki.kurihara@gmail.com



栗原もとき 検索

